

# いま大注目の「リファイニング建築」とは



清瀬けやきホール

Before (上) After (下)

撮影：イメージグラム



## 建築で人々の流れを呼び戻す “地方都市の再生”



今年6月に総合資格から発行された書籍「REFINING CITY x SMART CITY」(青木茂・著)は、環境省が目指す低炭素社会や新しい街をつくらうとするスマートシティのアイデアを「既存の街」に介入することで、衰退した地方都市の再生を図る提案が多数盛り込まれている。

**プロフィール**  
Shigeru Aoki (あおき・しげる)  
・株式会社青木茂建築工房 主宰  
・首都大学東京戦略研究センター 教授、大連理工大学客員教授  
・一級建築士 (第147135)、博士 (東京大学工学)

「再生建築リファイニング」(総合資格)、「団地をリファイニングしよう」(住宅新報社)、「見えない震災」(共著・みすず書房)など多数。90年代のバブル景気崩壊で新築の仕事が激減したことが、リファイニング建築を目指すきっかけとなり、2001年に「連年のリファイニング建築」(総合資格)を受賞。

「再生建築リファイニング」(総合資格)、「団地をリファイニングしよう」(住宅新報社)、「見えない震災」(共著・みすず書房)など多数。90年代のバブル景気崩壊で新築の仕事が激減したことが、リファイニング建築を目指すきっかけとなり、2001年に「連年のリファイニング建築」(総合資格)を受賞。



インタビュー

### 青木 茂氏に聞く

首都大学東京戦略研究センター 教授  
株式会社 青木茂建築工房 主宰

高層ビルに建てられたマンションなどの集合住宅は、建物設備の老朽化、多発する地震への耐震性能、入居者の高齢化など、様々な問題を抱えている。また、個々の建物だけでなく都市全体を見ても、時代の流れに取り残された地方都市は衰退し続け、早急な対策が求められている。これからの解決策の一つとして、既存建物の大規模な再生利用が、耐震補強や用途変更が可能な「リファイニング建築」が注目されている。老朽化するマンションや衰退する地方都市への対策として再生建築の第一人者で、新たな建築手法を提唱する青木茂氏に話を聞いた。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、既存建物の躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。リノベーションやリペアは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

## 躯体残し耐震補強 設備とデザインを一新

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。

「リファイニング建築」は「リノベーション」から派生した言葉です。リノベーションは、建物一種を丸ごとや、躯体を壊して必要最低限を残し、耐震補強を行い、現行基準までアップグレードし、設備機器や内外装のデザインを一新する建築手法です。30年から40年を経過する建物を再生させることで、再生した建物を「リファイニング建築」と呼ぶことにします。